

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」高砂事業所		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	体制整備ができています。	職員配置には個別支援が提供できるように調整している。 利用者の安全確保の為、フィードバック時や保護者相談時は職員が安全を確保できるように調整している。 職員が定着して勤務できるように面談の機会を設けている。	利用者が集中し安心して活動できる環境設定を職員共有し、個別対応力を高める。 けがや事故防止の為に、ヒヤリハットの作成を行う。 職員が安定して支援提供できるように、フォロー体制の見直しを定期的に行う。
2	利用者に寄り添った個別支援計画の作成、支援ができています。	様々な支援員が支援担当し、利用者の課題について多角的にアプローチできる体制を整えている。 支援内容の定期的な見直しを行い、支援の方向性の修正を行っている。 利用者に寄り添った個別支援計画作成の為に、モニタリング時に保護者との情報共有、支援員からのヒアリングを丁寧に行っている。	支援内容の見直しを細かく行い、常に利用者に寄り添った個別支援計画に見合った支援を提供する。 支援の質向上を意識し、職員間研修の実施を行う。 保護者や利用者の意向を定期的に確認し、支援に活かす。
3	利用児が来所を楽しみにしている。	利用者の好きなこと、強みの把握に努め、「楽しい」と思える支援の提供ができています。	より利用者理解に繋がる視点を持てるように職員研修、情報共有を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携や保護者どうしをつなぐ機会の印象が少ない	当事業所での地域連携の事例が少なく、浸透していない。 保護者向けイベントの開催が少なく、保護者どうしで繋がる場面が少なかった。	保護者の要望に応じて圖をはじめとする地域連携ができるといことの周知を行う。保護者の相談に応じて「こんな連携ができます」ということを職員側から情報提供、提案が行えるようにする。 保護者向けイベントを計画的に実行する。
2	非常時の対応が全利用者に伝わっていない	非常時対応についての説明は契約時だけで、利用が進むと意識が薄れてしまう。	防災訓練に利用者が参加するタイミングで保護者にも改めて非常時の対応について説明する。 校舎掲示やSNSの活用を進める。
3	SNSでの情報発信が浸透していない	SNSを利用していない保護者、きらりがSNS発信していることを知らない保護者がいる。	定期的な発信を心がける。 法人内でのSNS運営チームを活用し、SNSの活用を改善する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」高砂事業所

公表日 2026 年 1 月 8 日

利用児童数 28

回収数 21

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21					・引き続きその子にあったスペースを確保していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21				・しっかり個別対応をしてくれている。	・今後も安全に支援ができるようにしていきたいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	3		3		・利用者にあった環境設定、情報伝達を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21				・集中が切れやすいので、個別に対応していただけるのは助かります。	・日々の清掃の継続とその子にあった空間作りを引き続き行います。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1			・担当してくださる職員のみなさんが、子どもの特性や性格について共通の認識を持って接して下さっているのを感じます。 ・個別性がある。	・今後も子どもの理解を深め、支援をしたいと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			3		・狙いをもったプログラムの提案をし、保護者の方にも説明を行います。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21					・子どものかかえている問題と、保護者のニーズを積極的に考えていきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20			1		・今後も個別支援計画の説明を丁寧に行なっていきたいと思っています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19			2		・引き続き支援計画に基づいた支援の提供を心がけます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1		2	・子どもの興味が持てることを色々と工夫して準備して下さっていると感じます。	・必要な所は継続し、固定化されないように工夫していきたいと思っています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	1	4	5		・機会を検討します。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					・今後も引き続き丁寧に説明を行います。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21				・たくさんある困りごとの中からどうサポートすれば良いか、的確な目標を一緒に探して下さっています。	・今後も丁寧な説明を心がけます。 ・ご不明な点がございましたらいつでもお申し付けください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2		5		・年後半からママカフェ等を開催しておりますのでさらに提供の機会を増やしていくよう努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21				・きちんと話をきいてくれる。	・引き続きFBでの情報共有を行なっていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20			1	・親だけでは気付かない目線でアドバイスをいただいています。 ・毎回助言がある。	・家族支援等を行い、情報を共有し支援に繋げてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20			1		・今後も保護者様や利用者様に寄り添いながら支援をしていきたいと思っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2		9		・学年別等の保護者会などの機会を保護者様のご希望に沿って検討します。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1		3		・FBや家族支援で対応し、職員に周知し今後の対応を検討します。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21					・今後も相談しやすい環境作りをしていきたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16			5		・今後もSNSでの発信を行い、FB等を通してSNS等の情報共有を行います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21					・今後も個人情報の取扱いに十分に注意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20			1		・今後も訓練を行い、安全に支援ができるように努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20			1		・今後も非常時を想定し、訓練を行いたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20			1		・今後も子どもの安全第一で支援を行います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			1		・今後も事故が発生した際は状況や対応についての説明を丁寧に行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21					・今後も安心できる環境作りに努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	2			・子どものすきを通して苦手な事を克服できるよう取り組んでいただき、楽しんで通っています。 ・「きらいいく」と毎回いいます！！	・今後も楽しい時間を過ごしてもらえように努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1			・取り入れてほしい支援を伝えたら取り入れてくれる。	・今後も支援の方向性を利用者様とすり合わせながら満足できる支援の提供に尽力してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」高砂事業所		2026 年 1 月 8 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個別支援では個室も活用して集中する空間設定を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		支援FBで保護者対応中に、空いている職員が利用時対応できている。	FBや入れ替わり時にバタバタとする事がある。入れ変わり時間に足りていないと思う時もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		利用者に合わせた環境設定を行っている。	日々整理整頓ができるといい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			日々整理整頓ができるといい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室を活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員育成の一つで取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間で共有、工夫改善点を共有している。	
	利用児が来所を楽しみにしているか。	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間のMTG、1on1を実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内・外の研修を適宜受講している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		定期的にあセスメントを実施している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ケース会議等において職員からの情報共有をもとに検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		プログラム作成時、支援計画の確認を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		NCプログラムを主に活用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		設定し、支援提供を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		必要に応じて行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個別支援計画、プログラムの見直しを職員間で行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		希望に応じて集団支援を提案している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		集団支援、イベント時は行っている。 朝礼などMTGを通して当日の予定を打ち合せている。	集団支援、イベント時は行っている。 必ずではない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	必ずはできていない。 カルーン上で共有はしている。 終礼などを通して一日の振り返りや支援内容の共有を行っている。	必ずはできていない。 必ずではない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		必ず記録をとって、必要に応じて職員全員で共有検討している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児発管、担当支援員が参加しているが、担当支援員が参加できない時は事前に参加職員と情報共有している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて行えるように体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		おそらくできている？ 必要に応じて行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				連携しているか分からない。 スーパーバイズや助言の機会を設けていない。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		機会を設けていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		FBや家族支援で情報共有を行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		同席支援やファミカフェを提案している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			利用者負担の説明にあまり自信がなく丁寧に 行えているか不安がある。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング説明時に意向の確認をしている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて提案している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		ママカフェを1度行った。今後行う予定。イベントではきょうだい児の参加を提案している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談があった場合はすぐに職員全員で共有、対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		教室通信、インスタグラム、ブログ、LINE@を活用している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			名前が記入されている物が見える所にある事もあるので意識する。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		招く機会を作れていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始時に情報収集を行っている。	全員はできていない。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供は行っていない。 主に食事提供はなく、イベントで食べ物を扱う場合、参加者全員に都度確認している。	保護者様に確認をしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを作成、保管している。	方策の検討をできていないことがある。口頭で共有し、検討する時間をつくる。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		社内研修を活用している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		社内研修を活用している。	